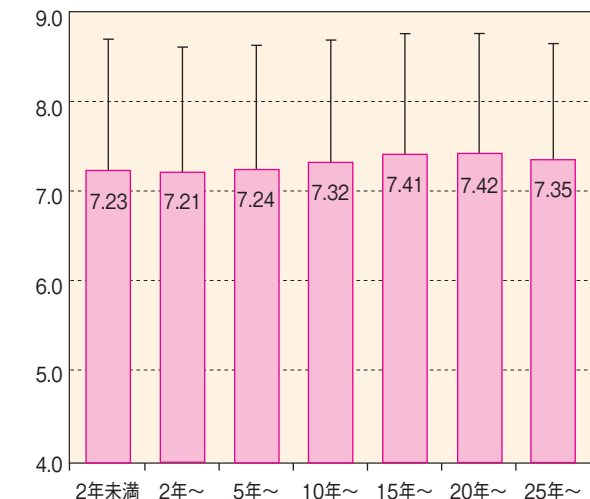


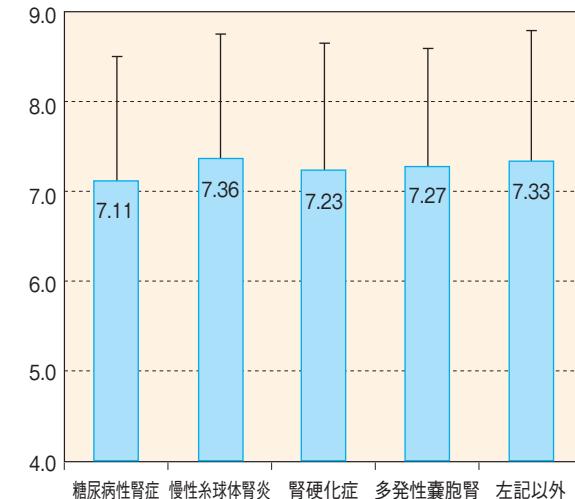
5) 尿酸関連調査

(2) 透析歴、原疾患、治療方法別尿酸値 (図表49)

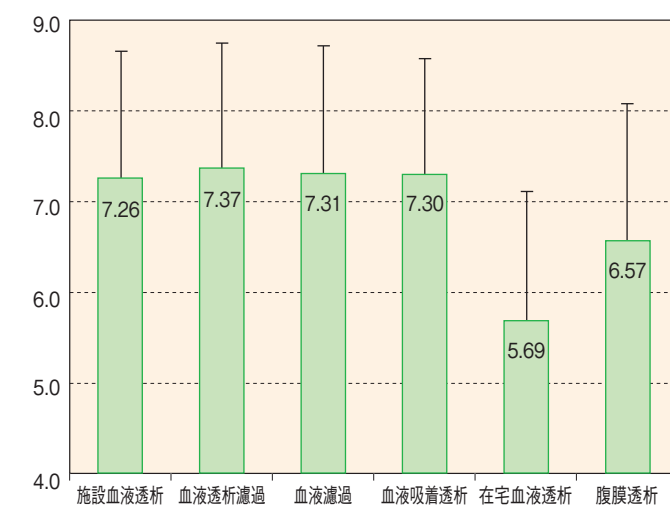
mg/dL グラフ1 透析歴別の尿酸値(平均値)



mg/dL グラフ2 原疾患別の尿酸値(平均値)



mg/dL グラフ3 治療方法別の尿酸値(平均値)



グラフ1 集計対象：235,676 人
 グラフ2 集計対象：256,514 人
 グラフ3 集計対象：256,536 人

患者調査による集計

解説

透析歴別の尿酸値をみると、透析歴とともに尿酸平均値の漸増を認めた。

原疾患別では、慢性糸球体腎炎が平均7.36mg/dLで最も高く、糖尿病性腎症は7.11mg/dLと最も低値であった。

治療方法別にみると、体外循環による血液浄化療法の7.30mg/dL前後であるのに対し腹膜透析では平均6.57mg/dLと低値を認めた。在宅血液透析では平均5.69mg/dLと最も低く透析量の差による可能性も窺われたが、214例と少数であり、解釈には慎重を要すると思われた。